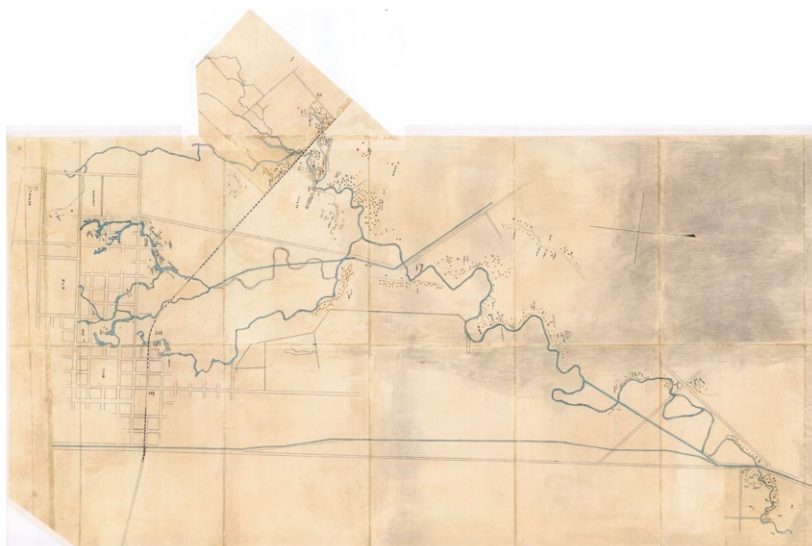


高畑宜一



【きゅうことにがわりゅういきのたてあなじゅうきょあとぶんぶず】

旧琴似川流域の竪穴住居跡分布図

たかばたけよし かず

高畑宜一による遺跡分布図

分布図は、「北鳴学校」や「札幌史学会」で新渡戸稲造らとともに活躍した高畑宜一によって明治27(1894)～28(1895)年頃に作成されたものである。知事公館や北大植物園などの都心部から北区麻生町付近までの地図の中に、黄色や赤色に彩色された円形・方形などの印で、擦文時代(7～13世紀)頃の竪穴住居跡の窪みが約720カ所記録されている。また、当時の道路・鉄道や「師範学校(敷地)」・「札幌病院」・「博物館」などの建物名、「森源三」・「調所廣丈」や琴似屯田入植者の人名なども書かれており、資料的価値が非常に高いものである。

全国でも最古級の遺跡分布図

本分布図は、明治時代の「コロボックル論争」に代表される日本の石器時代人と道内に数多く分布する「穴居跡」の住人についての人種論争を背景にして作られたもので、当時の人類学・考古学などの研究状況を知る上でも極めて重要なものである。

また、全国的にみても竪穴住居跡などを広範囲に記録した遺跡分布図としては最古級の資料である。

この分布図によって、市内で新たに39カ所の遺跡が確認されており、本市の都市部の遺跡分布状況を知る上でも不可欠な資料となっている。

- 制作年代：明治27(1894)年～明治28(1895)年頃
- 指定年月日：平成16(2004)年8月25日
- 所在地：札幌市中央区南22条西13丁目1-1
札幌市埋蔵文化財センター
- お問い合わせ：札幌市埋蔵文化財センター
☎ 512-5430
- 観覧形態：レプリカ展示
- 観覧時間：8時45分～17時15分
- 休館日：祝日、振替休日、年末年始(12月29日～1月3日)
(ただし、5月3～5日、11月3日は開館)
- 観覧料：無料
- アクセス：市電「中央図書館前」
じょうてつバス「南21条西11丁目」

